

もっと詳しく知りたい方へ



女性教育情報センターは、国立女性教育会館内にある、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。

●文献情報データベース（所蔵検索）

http://winet.nwec.jp/bunken/opac_search/

図書の貸出、新聞記事の複写郵送サービスなどを行っています。ぜひご利用ください！



女性教育情報センターHP

DV・モラハラ

なくそう、やめよう、逃げよう
女性教育情報センター所蔵展示（10月～12月）

<https://www.nwec.jp/event/center/dv18-10.html>

編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課
〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地

TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>

発行：2018年10月

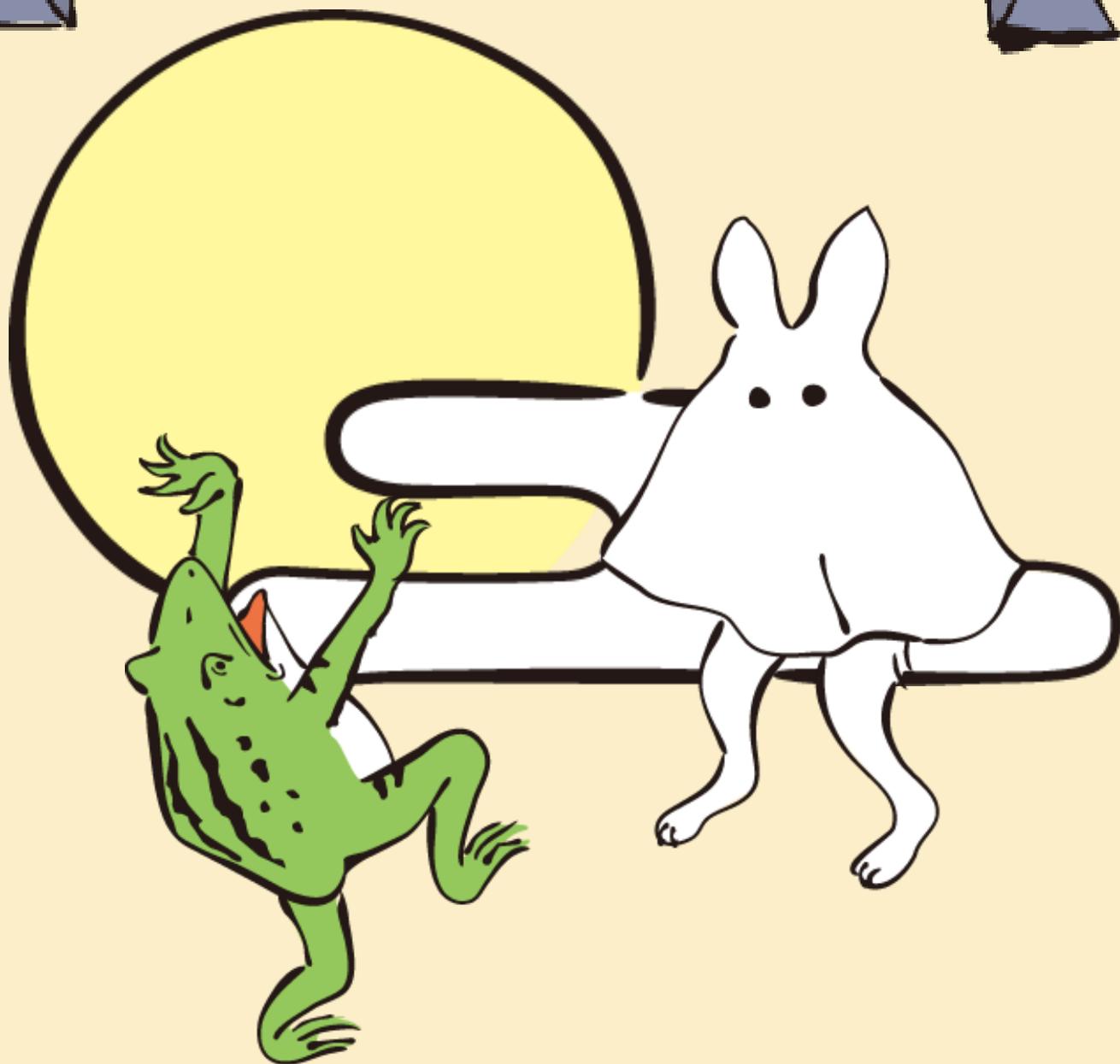
本文中書籍画像：amazonより引用

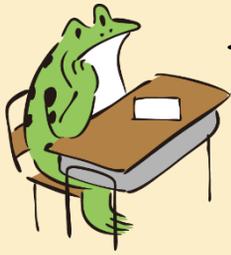


本、あり^{ます}□。

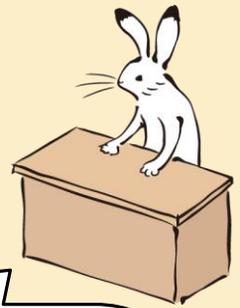
-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///vol.14///

DV・モラハラ
なくそう、やめよう、逃げよう





Q. DVってなに？



A. 「DV」とは英語の「domestic violence」（ドメスティック・バイオレンス）を略したものです。

「DV」には明確な定義はありませんが、日本では「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されることが多いです。

被害者の多くは女性です。女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害する重大な問題です。相談件数や調査結果等から、少数の人だけが被害を受けているのではなく、多くの人々が被害を受けていることがわかります。

配偶者からの暴力事案等の被害者・加害者の状況等
（※以下は全て相談等件数の内訳）

（1）被害者の性別

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成29年の割合
男性	3,281	5,971	7,557	10,496	12,440	17.2%
女性	46,252	53,101	55,584	59,412	60,015	82.8%

（2）加害者の性別

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成29年の割合
男性	46,251	53,090	55,550	59,425	59,939	82.7%
女性	3,282	5,982	7,591	10,483	12,516	17.3%

※いずれも警視庁HPの統計から引用



モラハラ関連図書！

『モラルハラスメント：あなたを縛る見えない鎖』

リサ・アロンソン・フォンテス著 2017

アメリカにおけるモラルハラスメントの事例を紹介するとともに、そこからの脱出方法を詳しく解説した図書です。LGBTカップル間のモラハラや、ティーンエイジャーにおけるモラハラ、ネットを使ったハラスメントの実態など、近代的な問題事例も多く載っています。

『平気で他人を傷つける人』

片田珠美著 2015

日常の中でさらりと他人を傷つける人。なぜそのように人に嫌がらせをしてしまうのか、根幹となる感情とその仕組みを解説している本です。こんな些細なことがモラハラになるのか。あくまで身近に感じるため最小単位としてのモラハラ例が挙げられています。

『モラハラ環境を生きた人たち』

谷本恵美著 2016

モラハラに対処するための本ではなく、モラハラ被害を受けた後の心のケアについて書かれた図書です。モラハラ被害後に誰しも経験する、被害者としての心のうずきに焦点を当てています。モラハラから離れた後の心のケアがいかに大切か、それを怠るとどのような影響があるのかを知り、心のケアを実践するための図書です。



Q. モラハラってなに？



A. モラハラはモラルハラスメントの略称です。モラルとは倫理や道徳といった意味、ハラスメントは嫌がらせといった意味なので、モラハラとは倫理や道徳に反した嫌がらせを指します。フランスの精神科医、マリー＝フランス・イルゴイエヌが提唱した言葉です。

殴る・蹴るといった肉体的な暴力ではなく、発言や行動、態度などで相手を精神的に追い込む嫌がらせのことです。家庭や職場など様々な人間関係の場で起きています。

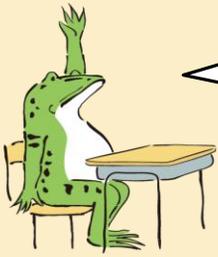
モラハラにあたる具体的な行動・態度

家庭

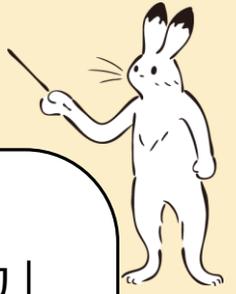
- 妻（夫）を貶める
- 自分の間違いを認めない
- 子どもに妻（夫）の悪口を吹き込んで洗脳する
- 暴力を振るわず、暴言を吐く など

職場

- 無視をする
- 執拗に誹謗中傷をする
- 仕事に必要な情報を与えない
- プライベートに介入してくる など



Q. 具体的にDVに値する行為って
どんなものがあるの？



A. DVには様々な暴力の形態が存在します。
大きく「身体的暴力」「精神的暴力」「性的暴力」
の3つです。詳しくは下記の例示を参照ください。
生活費を渡さないなどの行為は、「経済的暴力」と
して別に分類される場合もあります。

また近年では、親が子どもの目の前で配偶者や親
族らに暴力をふるうこと（面前DV）が子どもの心身
に深刻な影響を与えることも懸念されています。

<DV行為の例>

身体的暴力

- 殴る、蹴る、腕をねじる
- 物を投げつける
- 髪を引っ張る、首を絞める、刃物を突きつける
など

精神的暴力

- 暴言を吐く、怒鳴る、無視をする
- 大切にしているものを壊す、捨てる
- 生活費を渡さない
- 交遊関係の制限、電話・メール等の監視
など

性的暴力

- 性的行為の強要
- 避妊に協力しない、中絶の強要
- 無理やりポルノビデオやポルノ雑誌を見せる
など



DV関連図書！

**『心の問題と家族の法律相談：
離婚・親権・面会交流・DV・モラハラ・虐待・ストーカー』**
森公任, 森元みのり著 2017

DV、モラハラ、ストーカー、児童虐待、難航する面会交流等など、家族や男女関係に関するトラブルの背景に、「心の問題」（精神医学的な問題）が潜んでいることが多くあります。この図書は、家事事件を数多く扱う弁護士事務所が蓄積した事例をもとに、弁護士と精神科医の視点から、これらの解決困難な事例への解決の指針を分かりやすく解説しています。

『愛を言い訳にする人たち：DV加害男性700人の告白』
山口のり子著 2016

DVのない社会を目指して活動している民間団体であるアウェアに通って自らの加害を認め、その償いをしようとする男性の告白集です。パートナーに暴力を振るう人たちの「考え」がよくわかる本です。

**『DVシェルターの女たち
= Women of Battered Women's Shelter』**
春日野晴子著 2016

DVシェルターとは、DVを受けた女性が身を寄せる施設です。DVが世間で認知されるようになり、シェルターの存在も知られるようになってきましたが、その内部がどのようなになっているのかは、ほとんど明かされていません。この図書は、夫による激しい暴力に苦しめられたひとりの女性が、夫から逃れ、シェルターに入所し、再生をする過程を描いたノンフィクション図書です。

11/12～11/25は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。
DVをよく理解してなくそう、やめよう、逃げよう！



『親密圏における暴力：被害者支援と法』

手嶋昭子著 2016

法社会学、ジェンダー法から刑事法学まで広い射程をもつ図書です。身近な者からの愛情、信頼が裏切られる時、法はいかにあるべきか、被害者の法と権利を考察しています。

『パパと怒り鬼：話してごらん、だれかに』

グロー・ダーレ作；スヴァイン・ニーフス絵 2011

ドメスティックバイオレンスを子どもの視点から捉えたノルウェーの絵本です。子どもと大人、どちらにも読んでほしい一冊です。

『愛する、愛される：デートDVをなくす・若者のためのレッスン7』

山口のり子著 2017

恋人からの暴力に苦しんでいる若者に、お互いに尊重しあえる人間関係の大切さを提唱した本です。愛し愛されるとはどういうことか、コミック形式で恋愛関係にある男女間でどのような暴力が起こるか、どう対処すべきかわかりやすく書かれています。